

(第2号様式)

豊見城 第 1938 号  
令和8年 3月 10日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立豊見城高等学校  
校長 仲地 範禮  
(公印省略)

### 令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月16日 16:00~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員3名出席
第2回	日時	令和7年12月17日 16:00~16:50	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員3名出席
第3回	日時	令和8年3月6日 16:00~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員4名出席

#### 2 学校評議員に求めた事項

○4名の評議員へ、本校の学校運営等に関する質疑や意見、要望、助言を求める。○学識経験者として、元県立学校長及び県内大学業務に携わっている経験・立場から、現在の高校教育の現状等について、課題及びその解決への提言を求める。○本校元副PTA会長、保育施設業務に携わる視点から、本校に対する期待などの提言を求める。○地域住民・同窓生代表として、本校近隣に在住し、社会福祉士、精神保健福祉士としても活躍する視点から、これまでの経験を踏まえた提言を求める。

#### 3 学校評議員の意見

○特進コースの廃コースの要因と今後の進学体制の充実。○教育DXの推進。チャットGPTのような生成AIは非常に便利であり、授業の最後に小テストとして活用することで、知識の定着や学力向上に繋がる。○生徒指導面で「当たり前」の事を「当たり前」にできる生徒の育成。○ネットを利用した犯罪(闇バイトなど)について、生徒の意識が低い可能性があるため、犯罪であるという認識を高める指導が必要である。また、高校生のうちに社会人として必要な能力を育成することが重要である。生徒の居場所作りや「ワッター学校(私たちの学校)」という意識を高める取り組みも有効である。ワーキンググループを広げていくことも有効である。○先生方の長時間勤務が心配である。健康に気をつけて欲しい。○改善すべきネガティブな側面に目を向けつつも、生徒たちが「この学校で学んでよかった」と思えるような愛校心や愛着に繋がる活動を推進し、次のステップ(卒業後、進級後)を意識させる時期にしてほしい。

#### 4 学校運営に反映した事項

○働き方改革の視点からの業務の効率化(AIの活用、業務のデジタル化) ○学校全体が各種行事に力を入れていることの意義を再確認することができた。○地域から注目を集める地域の拠点校であることの責務を再確認することができた。

#### 5 課題その他

○学校の中からでは見えない部分にいろいろ気づかされた。話を聞いていると、我々が普段やっている教育活動が間違いではないと感じて自信になった。○校則の見直しについては保護者・生徒の意見も取り入れてワーキングチームで検討していく。○教育DXの推進、生徒の主体性に主眼をおいた教育活動等のさらなる推進。○進路未決定者への指導は課題だがキャリア教育大事である。○教職員の負担を踏まえた上で学校の活性化